

神無月 10月



10月は全国の神様が会議をするために出雲へ出張、日本中の神様がいなくなってしまう。そんな事から出雲以外の地域は「神無月」出雲は「神在月」となります。

大国主神が日本の国土を開発した神様で、その時自分の息子や娘を各地へ配置してその地を管理させ、子どもたちは年に1度出雲の国に戻り、父親にその年の出来事を報告し、来年の予定を打ち合わせするようになったことが始まりと言われています。

会議の内容は諸説伝わっていますが、一般には人の運命について話し合われ、中でも誰と誰を結婚させるかなど、この会議の議題に上がるとか。遠く離れた男女が結ばれるのは、この神様の会議の結果かも知れません。出雲大社は縁結びの神様。信仰しておかなければ。

ちなみに、神様が各地に戻ってくる月を「神帰月」と言います。

日本の神話ってロマンティックですよ、ずっと残していきたい文化です。

